

歯っぴー通信

第24号

七度目の春を迎えた
歯っぴー通信を、
皆様にお届けします

春爛漫の好季節となりました。皆さんいかがお過ごしですか。通勤途中にみる土手沿いの桜も、大雪に耐え忍び立派に咲きました。日に日に濃さをます若葉の緑も、目に眩しく映るようになりました。

新学期、新年度、四月になると、なんだか、ワクワク・ドキドキ、新鮮な気分になりますか。

心地よい春の日差しを浴びながら、さあ、スイッチをオンにして、また一歩前進しましょう。

(ご存知ですか?)

あなたの病気とお口の深い関係
～服用薬編～

私達は、来院された皆さんに、「お体の具合はいかがですか?」とお聞きします。また、定期健診のご案内のバガキでは、「お薬手帳をお持ちの方はご持参下さい」とお願いしています。

口の中とは関係ないんじゃないの?と、思われる方もいらっしゃるのでは無いでしょうか。

実は、全身疾患をお持ちの方が、歯科治療を受ける際には、治療のストレスや感染の問題など、最悪、命に関わる場合もあります。私達は、お口の中だけを診るのではなく、その方の健康状態や服用するお薬によって、様々な配慮が必要になります。

歯科治療と全身に関わる病気には深い関係があるので

そこで、今回は服用されている方が多い、血液さらさらのお薬「抗血栓薬」と、骨粗鬆症(しょうじょう)のお薬で代表的なお薬「BP(ビスフォスフォネート)製剤」と歯科治療の関係をお話します。



このお薬はどんなお薬?

抗血栓薬

いわゆる、血液をさらさらにするお薬です。この中には抗凝固薬、抗血小板薬が含まれます。それぞれ、どんな働きがあるのか見ていきましょう。

抗凝固薬

(ワーファリンなど)

血液の凝固に関係するビタミンKの働きを抑えて血液を固まりにくくすること、血栓ができるのを防ぎます。この薬は静脈にできる血栓を予防します。

抗血小板薬

(バイアスピリンなど)

血小板の作用を抑えて血栓をできにくくします。この薬は動脈にできる血栓を予防します。

BP(ビスフォスフォネート)製剤

骨粗鬆症の代表的な治療薬です。体内に入ったBP製剤は骨を壊す細胞(破骨細胞)を抑え、骨の強度を高めていきます。



そうか! そう難だ! そうだったのか!

薬と歯の治療、
難しくないけど大事な話

抗血栓薬と
歯科治療の関係は?

抗血栓薬を服用されている方には、出血を伴う処置を行う時に注意が必要です。以前は、抜歯など外科処置では、血が止まりにくくなるとの理由で、数日間、薬の服用を中止して行うのが一般的でした。

しかし、服用を中止することでの血栓症(脳梗塞や心筋梗塞)のリスクが問題となり、近年では、医師との連携の元で、十分な止血処置(傷口の縫合・止血剤の使用)をすることで問題は無いとされ、基本、薬を中止することなく治療を行っています。

『BP製剤と 歯科治療の関係は?』

骨の代謝を抑えている為、抜歯などを行うと、周りの骨が治らず、壊死を起こす可能性があり、これは激しい痛みをとめない、骨がむき出しになる場合もあります。

その他、お口のお手入れが十分にできない状態が続いたり、合わない義歯を使っていることで顎骨壊死が起こります。

今後、BP製剤を服用予定の方は、服用前に抜歯などの歯科治療を済ませておくことが大切です。既に服用されている方は、そういった治療が必要にならないように、歯科での定期健診と毎日のお口のお手入れがとても重要なのです。



イラスト 村田さゆり

全身疾患を お持ちの方へのお願い

● 過去にかかったことがある病気、現在にかかっている病気を正確にお伝えください。

● お薬手帳をご持参ください。

● 歯科医院でも薬を出す場合があります。薬剤のアレルギーがある方は、お伝えください。

● 服用時体調の変化がある場合はお知らせください。

● 体調を整えてお越しください。

より安全に診療を行えるよう、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。



丸山さん歓迎会

福嶋歯科医院に歯科衛生士の 新しい仲間が加わりました!



皆様、こんにちは。丸山香織と申します。歯科衛生士として、皆さまのお口の健康を守るお手伝いをさせていただきます。と思っており、まだまだ勉強中ですが、日々成長していきます。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、春になり新たな事や生活を始めようと考えておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私自身も、ヨガや部活動で出会ったお琴を習い始めたいと考えています。好きな事に打ち込むことで、自然と集中力が養われ、日常にも役立つように思います。皆様はどのような事に興味をお持ちでしょうか。そんな話題もお話できる日を楽しみに、お待ちしております。

福嶋歯科医院スタッフによる 【歯科健康講座】 お知らせ

福嶋歯科医院スタッフによる講座の第一弾!

歯科疾患の代表である『むし歯』と『歯周病』、新たに多くのトラブルを抱える原因として分かってきた、歯ぎしりなどの『力の問題』、この3本のテーマで講演致します。

長寿社会となった現代こそ、歯をより長く保たせることが高齢期の生活の質の豊かさにつながります。そのために今できる予防は何か? それぞれの年齢に起こりうる問題をピックアップしてお答えします。詳しくは別紙にてご参照ください。

この機会に、ご家族、お友達をお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

福嶋歯科医院

〒680-0031 鳥取市米町609 加藤紙店ビル5F

TEL 0857-12417272

FAX 0857-12417262

Email fuku-y@halne.jp

URL http://www.halne.jp/fuku-y/

【製作】澤美千代 村田さゆり 丸山香織
【監修】福嶋由梨